

特別支援学校へ 教材や備品寄贈

獨協医大

【栃木】獨協医大はこのほど、皆川城内町の栃木特別支援学校で、同校を含む県内の特別支援学校6校に教材や備品(計42万円相当)を寄贈した。

9月の障害者雇用支援月間に合わせた地域貢献活動の一環。12回目の今年は実習や雇用などを通じて関係



がある栃木、国分寺、のぎわ、富屋、今市の各特別支

援学校と宇都宮青葉高等学校に対し、各校が希望した折りたたみいすや防災担架など19品目を贈った。

贈呈式には同医大関係者と各校の校長ら計13人が出席。同医大の関口徹^{せきぐちとほろ}人事部長(58)は写真右から4人目。彼は「生徒らに喜んでもらえるよう役立ててほしい」とあいさつ。栃木特別支援学校の保坂麻紀^{ほさかまき}校長(56)は「多くの子どもたちの学びに役立てていきたい」と謝辞を述

べた。式後、同校中等部の生徒約40人が感謝の気持ちを込めてダンスを披露した。